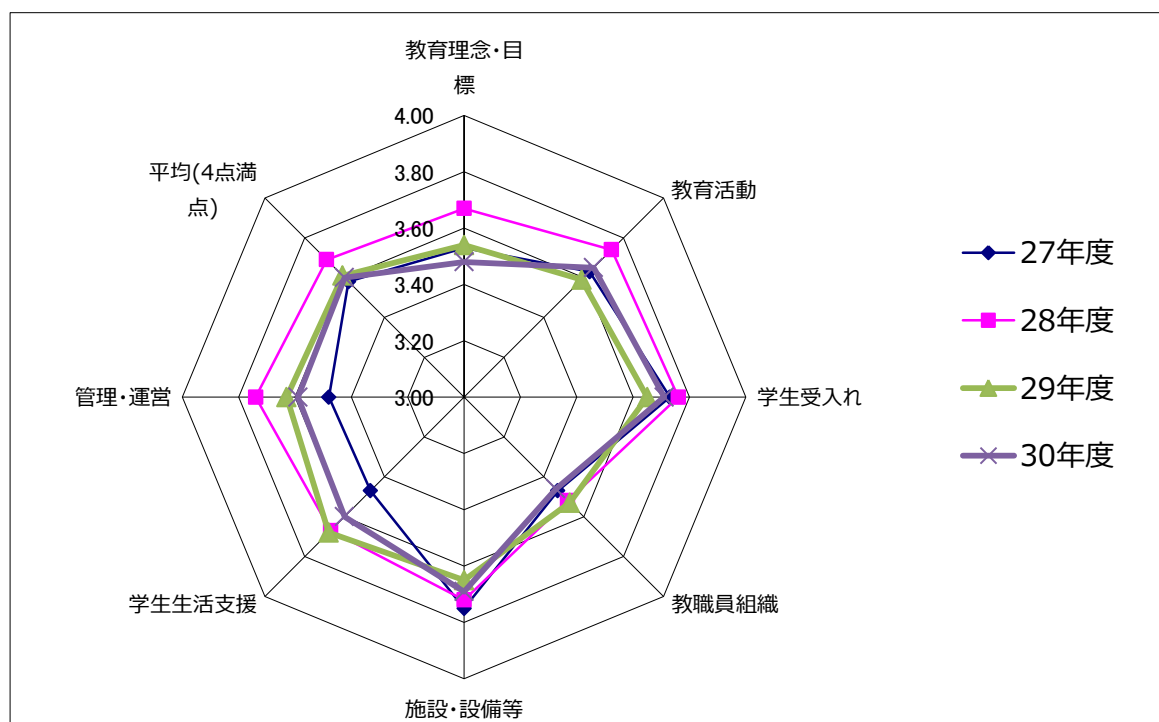


平成30年度 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 自己点検・自己評価

| | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
|----------|------|------|------|------|
| 教育理念・目標 | 3.53 | 3.67 | 3.54 | 3.48 |
| 教育活動 | 3.63 | 3.74 | 3.59 | 3.65 |
| 学生受入れ | 3.73 | 3.76 | 3.65 | 3.71 |
| 教職員組織 | 3.47 | 3.52 | 3.53 | 3.46 |
| 施設・設備等 | 3.75 | 3.72 | 3.65 | 3.69 |
| 学生生活支援 | 3.47 | 3.67 | 3.68 | 3.6 |
| 管理・運営 | 3.48 | 3.74 | 3.63 | 3.59 |
| 平均(4点満点) | 3.58 | 3.69 | 3.61 | 3.6 |



総合評価

2018年度の本校自己点検・自己評価の結果は昨年同様、概ね良好と言えます。教職員が固定され、計画的に学生指導を行なうことで、安定した運営ができました。また、国家試験結果や就職状況においても、好成績を挙げております。したがって学生募集に関しても心配がない状況でありましたが、他の作業療法士の養成施設のすべてと同様に、職業に対する高校生等の認知度の薄さから当校では定員割れとなってしまうまい。18才人口の減少や大学全入時代により、今後の学生募集では他学科においても深刻な事案であることから、作業療法学科の学生確保に対する策が急務と捉えています。今後は早い段階から本校を第一希望とする受験生を増やす工夫をすることはもちろん、学園全体での改組を含めた検討が必要と思われます。また、学習量についていくことが難しく、途中であきらめてしまう学生に対する補講等、今までにない教職員の仕事も急増していることや、指定規則の変更に伴い、カリキュラムの見直しを2020年度を目指して進めて参ります。2019年度は、これらの総合評価に甘んじることなく、今後もより積極的に、「最後まで徹底的に面倒をみる」ことを基本に学生指導をする運営を行ないます。